

大人気!!

ゴールフリーくずは教室恒例の定期テスト対策(無料)とは？

くずは教室の「テスト前学習会」を徹底解明



▲ テスト前学習会の様子。コーチ(講師)は、積極的に各ブースを回る。普段は受講していない科目の質問にも対応する。

とある日曜日。早朝にも関わらず、大きなカバンを持った子どもたちが続々と集まってくる。彼らは遊びに来ているわけではない。間近に迫った定期テスト対策を行うため、「ゴールフリーくずは教室の「テスト前学習会」に参加しに来たのである。せっかくの休日。「遊びたい」「ゆっくりに寝たい」そんな気持ちにも勝る「テスト前学習会」について迫ってみた。

「テスト前学習会」とは、個別指導塾であるゴールフリーの全教室で行われている中学生向けの無料テスト対策イベント。開校日時や参加対象者、学習会の内容については教室によって異なる。くずは教室における学習会の概要は、次のようになっていいる。

- 【日程】 近隣各公立中学校のテスト日の二週間前と一週間前の日曜
- 【時間】 午前九時半～午後六時(昼食休憩あり)
- 【対象】 中学生・高校生

- ※非会員の方も参加可
- 【内容】 コーチ(講師)による質問対応・解説(五教科)
- ※テキストの持ち込み可

内に浸透し、参加者が増えたのだと思います。

— 参加者が増えて変わったことはありますか？

◆以前は、正会員については事前の申し込みが不要でした。しかし、参加者が多くなるにつれ、コーチの手配や教室のキャパシティのこともあり、必ず事前に申込書を提出していただくようにしました。これにより、参加者が多くなってもご迷惑をかけることがない状況になっていいます。また、人数が多くなって騒がしくなったということもなく、むしろ頑張っているコが多いことが良い刺激になっていっているように思います。

— 高校生も参加可能としているのはなぜですか？

◆自分自身が高校生を教えていて感じるのは、やはり内容が難しく進度が速いということ。だから、高校生こそテスト前のフォローが必要だと思ったのです。幸い、うちには高校生に対応できるコーチが多くいますし、数学でしたら私も対応できるので高校生も可能としています。ただし、あくまでも日程は中学の定期テストの日程を基準としています。高校のテスト日程は、概ね中学校より一週間以上は遅くなるのですが、それに合わせて実施はしています。高校は科目数が多く内容も難し

【申込】 申込書の提出が必要

本来、ゴールフリーのテスト前学習会は「五教科まるごとコースを受講している中学生」に限定されているが、くずは教室では、五教科まるごとコースを受講していない中学生や高校生でも参加可能としている。また、開始時間についても、多くの教室が午後からの実施であるのに対し、くずは教室では午前中からの実施となっている等、他の教室とは異なる点が多い。このあたりの違いについても含め、どのような思いでテスト前学習会を実施しているのかを教室長に聞いてみた。

テスト前学習会は正会員以外も参加可能。ビルの1階に用意されている資料の中に申込書が同封されている。なお、座席には限りがあるため早目の申し込みが望ましいとのこと。

いので、中学生よりも早く対策を始めるべきです。直前に行わない分、早めの対策となるので、むしろ良い習慣が生まれていると思います。

— 中学生と高校生の五教科に対応、参加者も多くなったことで、コーチの確保が大変かと思いますが？

◆日曜日の実施ですから、予定のあるコーチも多く、確かにコーチの確保は容易というわけではありませぬ。しかし「テスト前学習会」にはできるだけ参加したいと思ってくれているコーチが多いですね。自分が担当している生徒のことが心配というのもありますし、普段は担当していない生徒と深く接する機会であるということが、彼らにとつての楽しみにもなっているようです。そして、何より、ここでの頑張りやテスト結果につながった時の喜びは、何事にも代えがたいということですね。

— 最後に、これからの「テスト前学習会」はどのようなようになっていくのでしょうか？

◆現状に満足せず、改善できるところは改善したいと思えますし、様々なことを試してみたいと思っています。ただ、最終的な満足度とは、結局のところ結果(点数)だと思っていますので、とにかく結果につながる学習会にしたいですね。



教室長 松本悟

いという思いからの時間変更でした。また休憩時間も短くしました。当初は

— 「テスト前学習会」が今のよう大人気のイベントとなったのはいつ頃からですか？

◆平成二十七年の秋ですね。それまでは今ほど盛況ではなかったです。

— 何がきっかけでしたか？

◆その年の春に赴任してきたのですが、まず驚いたのが中学校のレベルの高さでした。テストも難しければお子さんの学力も高い。これは、ちよつとやそつとのテスト対策じゃ結果が出ないと思えました。結果を出すためにテスト前学習会のテコ入れに努めるといのは、ごく自然な流れでした。

— どんなことをされたのですか？

◆まずは時間を変えました。他教室では午後からの実施が多いのですが午前中から開始して夕方に終えるという形にしました。昼までダラダラ過ごすより、朝から勉強して夕方には終わる。そして、家で家族とゆっくり食卓を囲いながら、その日の頑張りについて自分から話してもらい、保護者からは承認してもらいた

一時間や一時間半おきに休憩をとっていたのですが、あまり休憩の効果はないと感じていました。むしろ、せっかくりズムに乗ってきたところで休憩が来るとリズムを切ることになる等デメリットの方が大きいと判断し、途中の一斉休憩は昼の食事休憩だけにしました。昼休憩も一時間から四十五分に短縮しました。

— なるほど。時間変更による子どもたちの変化はありましたか？

◆最初は、朝から来る生徒は少なかったのですが、今はほとんどのコが朝から来ますね。朝から来て最後まで頑張ってくれています。休憩をなくしたことの弊害もありません。むしろ、期待通りに体力と集中力がついてきました。

— 他に変わったことはありませんか？

◆コーチ(講師)には積極的に質問対応に回るよう指導しました。「質問があれば来なさい」では単なる自習になる。自習なら、うちでなくても構わないわけです。また、個別指導に来るコの中には、自ら質問するのが苦手なコも多くなります。そういうコたちを放置したくなかったのです。開始前のミーティングでは生徒情報を共有し、そういうコは特に気にかけて見てあげるよう指示しています。結果、単なる自習でなくフォローしてもらえることが教室

「コーチ」から見た「テスト前学習会」とは

なぜ「講師」ではなく「コーチ」なのか？

ゴールフリーくずは教室の「テスト前学習会」において重要な役割を担っているのがコーチ（講師）だ。ゴールフリーでは、講師のことを「コーチ」と呼ぶが、これは単に呼び方を変えているというものではない。ゴールフリーのコーチは全員、

教育コーチング

を学び、その資格を有している。教育コーチングとは、一般社団法人日本青少年育成協会が認定する資格であり、教育関係者はもちろんのこと、経営者、人事担当者、コンサルタント、医療関係者、福祉関係者、主婦、スポーツコーチと様々な方が学んでいる。この教育コーチングには、信念のトライアングルというものがあ。つまり

人は育とうとする生き物だ

人は自分の中に答えを持っている

人はそれぞれ

の3つである。ゴールフリーのコーチは、これらの信念に基づき、生徒と接している。もちろん、テスト前学習会においてもその信念は大切にしている。「コーチ」の語源である

「クライアントを目的地へ運ぶ・導く」の言葉通り、各生徒の目標点にまで導くよう努めている。

さて、ここからはそんなコーチの視点から見たテスト前学習会について聞いてみよう。まずは、教室長である一方、自身も授業を受け持つ松本コーチに聞いてみた。

教室長としてだけでなく、一人のコーチとして必要とされていると実感できる

— 学習会を教室長としてでなく、一人のコーチとしてどのように捉えていますか？

普段から授業は受け持っているものの、普段はどうしても教室長としての業務がメインになります。しか



松本悟 コーチ



川東千紘 コーチ

た。また、自分は一年目のため、先輩コーチと比べ教えることに関しての経験が少ないというハンデがあります。しかし、テスト前学習会で生徒からの質問に答えることで、教える経験を積むことができ、コーチとしてのスキルアップにつながっていると実感しています。そして、普段は教えていない多くの生徒と接することで、生徒との人間関係の築き方も学ぶことができていると思っています。

最後に、同じくキャリア一年目の西田梨湖コーチ。

「先生のおかげ」

そう言ってもらえる喜び



西田梨湖 コーチ

「テスト前学習会」は生徒にとって自立への入り口



濱上咲 コーチ

— 濱上コーチから見たテスト前学習会とはどういうものですか？

そうですね、私は、テスト前学習会と普段の授業とは、生徒にとっても私にとっても異なる位置付けのものであると見えています。生徒にとって普段の授業とは、わからないところを教えてもらう場であり、何を学習するかはコーチが決めます。また、教科も時間も決められているので、教室に来て勉強するのは半ば義務のようなものです。そこには主体性や自立といったものがないわけではありませぬし、コーチは、生徒が自立できるよう工夫しますが、ややコーチへの依存度が高くなる傾向があると思っています。一方、テスト

— 西田コーチも川東コーチと同様、キャリア一年目ですね。西田コーチにとって学習会とは？

私もまだ一年目ですので、経験不足というところはあると思います。それを少しでも補おうという気持ちで学習会に参加しています。実際に参加してみると、普段関わっている生徒とは違ったタイプのコがいて、とても新鮮であり勉強になります。たとえば、同じ学年の同じ単元を何人も生徒に教えることもあるため、各単元での「犯しやさいミス」を知ることができ、それを自分の授業で活かすことができます。学習会後には、生徒から「先生のおかげで〇〇できたよ」と声をかけてもらえ、本当に嬉しかったです。これからもできる限り学習会に参加して生徒のために頑張りたいと思っています。

— 川東コーチはキャリア一年目ですが、もう何度も学習会に参加されていますね。自分にとって学習会とはどういうものですか？

テスト前学習会に参加した当初は、自分の担当生徒の勉強のサポートが主な目的でした。しかし、自ら積極的に参加し、一生懸命頑張っているコたちを見て、少しでもみんなの力になれたらと思うようになりまし

冬期講習受付中
2016.12.18 SUN
▼
2017.01.09 MON